

まずは! 楽しく!! 体を動かすところから始めよう

平成28年度市民対象別スポーツ教室

平成28年度 市民対象別スポーツ教室募集計画表

区分	地区	会場	時間	募集数	受講料
親子スポーツ教室	全域	緑体育館	午前10:30~11:30	30組	3,650円
ジュニアスポーツスクール	1・2年生	東	午後4:00~5:30	各30人	1,300円
		南A			
		南B			
		北			
	3・4年生	潮見A	午後4:30~6:00		
		潮見B			
		東			
	5・6年生	東	緑体育館		
		南			
		北			

4月中旬から募集します

体育協会では、「いつでも、どこでも、だれもが、いつまでも楽しめる豊かな生涯スポーツのまち・わっかない」をスローガンに「市民皆スポーツ」を目指す稚内市から受託する市民対象別スポーツ教室を開催しています。

母親と幼児を対象の「親子スポーツ教室」と、小学生を2学年ごとに行う「ジュニアスポーツスクール(通称:ジュニスポ)」があります。

スポーツアドバイザーとベテランの補助指導員による、ニュースポーツやスポーツゲームなどを通して、体を動かすことの楽しさを体験することから始めます。

親子のふれあいやコミュニケーションと、子どもたちの基礎体力や運動能力を養う場となるスポーツ教室(スクール)は、4月中旬から各小学校や、地元紙を通じて募集し、活動は5月から来年2月までの期間となります。多くの皆さんの受講をお待ちしています。

ママと一緒に、よーい・ドン!!!

いろいろな遊びやゲームから、走る・跳ぶ・投げるなどの運動を自然に身につけながら、親子のコミュニケーションを図ります。



さらに、同じ年代の子ども同士のふれあいや親同士の仲間づくりの場としてもおすすめです。

おいでよ・ジュニスポ!!!

低学年(1・2年生)は、ゲームやニュースポーツを中心に体を動かすことや、友達と一緒に運動することを楽しいと思えるように導くことを心がけています。

中・高学年(3年生以上)以上は、いろいろな種目に挑戦します。体協加盟団体などから指導者を派遣していただき、アドバイザーや補助指導員ではできない専門的な指導をしてもらいます。

ただし、ジュニアスポーツスクールは、運動の苦手な子どもにも、スポーツの楽しさを体感することを目指しているため、スポーツ(種目)が上手になる目的ではありませんのでご理解願います。

ジュニアスポーツスクールが募集定員をオーバーし、やむなく抽選となる地域がありますが、体育協会と教育委員会では、希望する子どもたち全員が受講できるように検討していますのでご理解願います。



小さな掛け金・大きな補償 スポーツ安全保険

5人以上のスポーツ・文化・地域・ボランティア活動に適用される保険です。

万が一の事故やケガに備えて、様々な活動をサポートする『スポーツ安全保険』に加入してスポーツを楽しみましょう。

保険の内容

- 対象事故: 団体、グループ活動中や活動場所への往復中の事故
- 保険期間: 平成28年4月1日 午前0時から平成29年3月31日 午後12時まで
- 加入手続き

- ・加入依頼書は市内体育館施設窓口に備え付けています。
- ・平成28年度(2016年度)専用以外の加入依頼書は使用できません。
- ・指定銀行の北洋銀行で振り込む際の手数料は、規定料金となります。詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ先
体育協会事務局へ

※北洋銀行以外の金融機関で送金(振込み)される場合は、加入依頼書の「説明」を参照ください。

平成28年度加入区分・掛金・補償額

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金(1人あたり)	傷害保険				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額	
				死亡	後遺障害 (最高)	入院 (1日につき)	通院 (1日につき)			
子ども <small>(中学生以下 特別支援学 校高等部の生 徒を含む。)</small>	▶スポーツ活動 ▶文化活動・ボランティア活動・地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故5億円 ただし、対人賠償は 1人1億円	突然死 <small>(急性心不全 脳内出血 など)</small>	
	▶上記団体活動に加え、個人活動も対象 <small>上段: 団体活動中・その往復中の補償額 下段: 上記以外(個人活動など)の補償額</small>	AW	1,450円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	対人・対物賠償 合算1事故5億500万円 ただし、対人賠償は 1人1億500万円	葬祭費用 180万円	
大人 <small>(高校生以上)</small>	▶スポーツ活動 ▶スポーツ活動の指導・審判	64歳 ^{注1} 以下	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故5億円 ただし、対人賠償は 1人1億円 ※自動車事故によって賠償責任 を負った場合は、補償の対象 となりません。	突然死 <small>(急性心不全 脳内出血 など)</small>
		65歳 ^{注1} 以上	B	1,200円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
	▶文化活動・ボランティア活動・地域活動 ▶準備・片付け・応援・団体の送迎 <small>※スポーツ活動中の事故は対象となりません。 ※A2区分には65歳以上の方も加入できます。</small>	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円			
全年齢	▶危険度の高いスポーツ活動 <small>(アメリカンフットボール、山岳登山など)</small>	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円	対人・対物賠償 合算1事故500万円	対象外	

注1「平成28年4月1日」と「掛金の支払手続きを行う日」のいずれか遅い日の満年齢を基準とします。

■**聡一郎(そういちろう)**
小中学校ではサッカーで汗を流しました。高校からはスポーツから離れたましたが、28歳から社会人サッカーを始め、現在も現役でプレーしています。娘たちと一緒にボールを蹴るのが一番の楽しみです。

■**妻・郁恵(いくえ)**
中学時代はバレーボールを楽しんでいました。今では市民バレーボール大会や、娘たちの影響でレディースサッカーフェスティバルにも参加するようになりました。娘たちの応援がとてもしみじみです。

■**長女・海優(めい)**
南中1年生。小学4年生からサッカーを始め、中学からは女子サッカーチーム稚内スタラマーレに所属し、去年11月の全道フットサル大会では準優勝することができました。今は正確なパスを出せるようになるために練習に励んでいます。

■**次女・唯優(ゆい)**
港小3年生。最北FCサッカー少年団に所属し、今年の夏にある全道大会出場や、最北FCには女子選手がたくさんいるので、女子サッカー大会に参加して全道優勝することを目指して頑張っています。

■**三女・優心(いこ)**
港小2年生。お姉ちゃん同様、最北FCサッカー少年団に所属し、日々サッカーボールを追いかけています。男子に負けたくないという強いシチュートで、いつばいゴールを取れるようになりたいです。

■**四女・環心(わん)**
港小1年生。お姉ちゃんたちの影響で年少からサッカーを始めました。最北FCサッカー少年団に所属し、サッカーを楽しんでいます。将来は長女の所属している稚内スタラマーレに入って、サッカーを続けていきたいです。

■**聡一郎さんからのコメント**
娘からサッカーを始めたいと言われた時は正直驚きました。今では一緒にプレーする事ができて、とても嬉しく思います。

サッカーを通して技術だけではなく、礼儀や思いやりを学び、感謝の気持ちを忘れずに生活して欲しいです。

われらスポーツ家族の輪



家族でスポーツに取り組み、楽しんでるスポーツ家族の輪をつないでまいります。

今号では、前号の「穴戸直樹さん」から紹介のあった「吉田聡一郎さん一家」です。

35 吉田 聡一郎さん一家